

『もりおかの短歌』春の部

一般部門 優秀賞十首

啄木たくぼくの

歌うたの木札きふだが家々いへいへに

掛かかりて長閑のどかに暮くるる渋民しぶたみ

青森県八戸市 木立 徹

三日後みっかごの

チャグチャグ馬うまコのお祭まつりの

幟のぼりはためく不来方城址こずかたじょうし

京都府長岡京市 吉田 正美

喜雲寺きうんじの庭にわに

鶯鳴うぐいすなく声こえは

百年ひゃくねんおかし啄木たくぼくも聞きく

盛岡市 小林 貴史

たくぼく あこが
啄木へ憧れついに

はんりよ
伴侶をば

いわて ひと き われ
岩手の人と決めたる我は

静岡県静岡市 篠原 三郎

わらび つ おも たくぼく
さ蕨を摘みつつ想う啄木は

たの
この樂しみを

し し
知るや知らずや

岩手郡雫石町 江面 綾子

こずかた
不来方の

いしがき さんしゅゆ
石垣そばの山菜萁の

はな はる おも
花こそ春を思わしむなり

盛岡市 赤坂 昌信

あ ざんせつ みち
まだ明けぬ残雪の道

ふ
踏みしめて

みこ だ あさいちひと
神子田朝市人のにぎわい

盛岡市 金澤 正幸

はんせいぎ さくらち

半世紀の桜散るなり

こずかたじょう

不来方城

そり かつ のぼ さか

櫓を担ぎて登りし坂よ

東京都江東区

藤村

清彦

いわてやま おお

岩手山の大きいなる姿に

すがた

た

立ちつくす

おすこ ふたり はじ

息子と二人 初めての旅

たび

兵庫県川西市

阪本

美穂

かしゅうて たくぼくお

歌集手に啄木追って盛岡へ

もりおか

ひとりたび

一人旅した

じゅうろく はる

十六の春

東京都大田区

村田まどか

ジュニア部門 優秀賞三首

ちち ひ ちち ふたり おやこたび
父の日に父と二人で親子旅
あこが
憧れていた

まち
もりおかの町

岐阜県美濃加茂市 松原 若菜

つうがくろ
通学路

はざくらつら なみきみち
葉桜連なる並木道

とお じゅっかげつ
ここを通るのもあと十ヵ月

岐阜県美濃加茂市 今井 愛彩

たくぼく おな くうき す
啄木と同じ空気を吸いたくて

うたよ
歌詠みながら

め ざ もりおか
目指す盛岡

岐阜県美濃加茂市 藤吉 峻希

【講評】

一般部門

まだ寒い残雪の街、やがてサンシユユが咲きサクラが咲き、チャグチャグ馬コの近づく頃までの歌がたくさん寄せられました。どの歌にも作者の存在が感じられて、惜しみながら迷いながら選をすすめました。

ジュニア部門

今年は国語の授業で取り組んで下さった学校もあり、フレッシュな歌に出会えたことを何より嬉しく思います。短歌が子供たちに身近な表現方法として浸透しますように、と願いながら選に当たりました。

平成二十九年 六月選

投稿数 三百十五首

選者 松田 久恵 氏